

平成 15 年度に収集した水文・気象データ

馬燮鈺¹・福嶋義宏²

¹地球フロンティア研究システム

²総合地球環境学研究所

黄河流域における水循環過程の変化を解明するには既存水文・気象データが必要である。今年度は、共同研究機関である中国側の中国科学院地理科学及び資源研究所の協力を得て、黄河流域における水文・気象データの収集を行った。収集したデータは、黄河流域降水量データ、黄河流域気象データと黄河月平均流量データの三種類である。

1. 黄河流域降水量データ

このデータセットには黄河水利委員会水文局が洪水防御のため流域内に設置した観測点の降水量データを収録されている。地点数は 1184 であるが、過去洪水の被害が多い地域——中流地域（涇水、渭水と洛水流域）に集中している。観測期間は観測点設置してから 1997 年まで。

2. 黄河流域気象データ

このデータセットには中国気象局の観測ネットワークである黄河流域内に設置した観測点で定常気象観測の 8 項目を収録されている。即ち、気温の日最高、日平均と日最低、日降水量、日平均風速、日平均水蒸気圧、日平均大気圧と日照時間である。地点数は 86 地点で、全流域に分布している。また、データの期間はその気象観測点設置してから 2001 年までだが、1980 年から 2001 年までの間連続観測したのは 71 地点（図 - 1）である。表 - 1 は 86 観測点の地点情報である。

3. 黄河月平均流量データ

このデータセットには黄河水利委員会の水文局が黄河本流に設置した主な観測断面で観測された黄河水位から計算した月平均流量を収録されている。断面数は 10 箇所、上流から順に黄河沿、瑪曲、唐乃亥、蘭州、頭道拐、竜門、潼関、三門峽、花園口と利津である（図 - 2）。データの期間はその観測点設置してから 1997 年まで。全地点のデータが揃えたのは 1960 年代の後半からである。



図 - 1 黄河流域1980 - 2001年間気象観測71地点の分布図

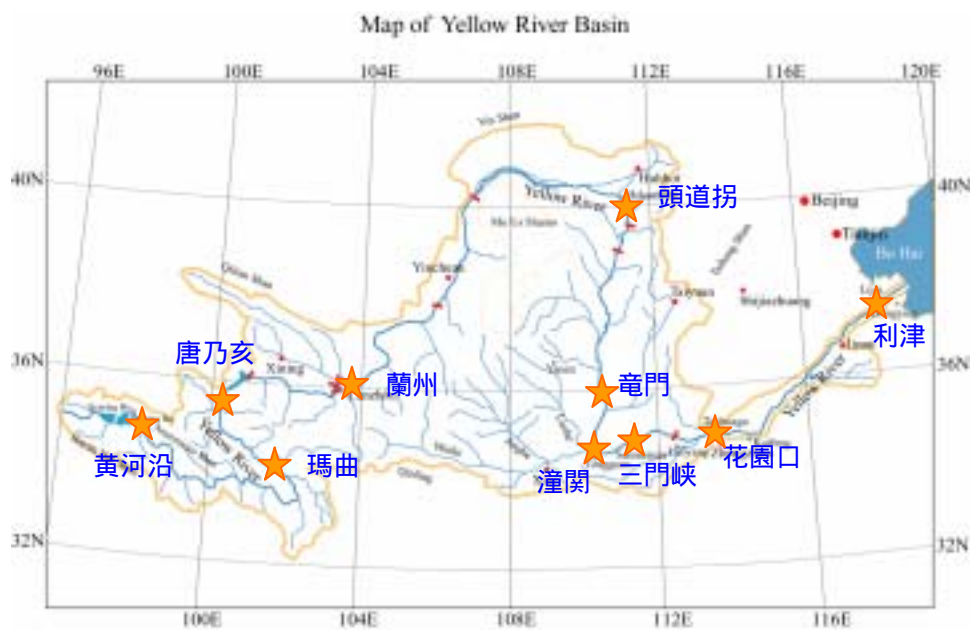


図 - 2 黄河水文観測断面の分布図